

大学病院の緩和ケアを考える会

第11回

医学生の緩和ケア教育のための教育実践大会

神経難病の協働意思決定

～“Collaborative Decision Making”の実践に向けて～

緩和ケア＝がんのイメージが強いですが、緩和ケアの対象は心不全、COPD、認知症、腎不全、救急などに広がっています。今回は神経難病。長い経過の中で、胃瘻や気管切開など様々な意思決定が求められます。医師と患者の理想的な協働意思決定とは何か。神経難病に対する緩和ケアの第一人者である荻野美恵子先生と共にロールプレイを通して学びます。

11月17日（日）14：00～16：30

ZOOM開催

対象：医学生・看護学生・薬学生等の医療系学生
緩和ケアの教育に関心のある医療者

参加費：無料



講師：荻野美恵子先生

国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター 副センター長・教授
国際医療福祉大学市川病院神経難病センター長・部長

代表世話人：高宮有介先生

昭和大学医学部 医学教育学講座 客員教授
戸田中央メディカルケアグループ 緩和医療特別顧問



大学病院の緩和ケアを考える会
事務局 info@da-kanwa.org



申込は
コチラ